

代表者等の変更について

新年度を迎えるにあたって、「代表者」「所在地」「企業名」に変更がある場合は、所定の様式（住所、氏名等変更届）に記入の上、速やかに鬼怒水道事務所へ1部を提出してください。

様式は、https://www.pref.tochigi.lg.jp/j54/index_k.html から

施設の紹介

鬼怒工水だより第18号(令和3(2020)年1月発行)において、工業用水ができるまでの全体の工程を御紹介しておりますが、今回は河川から取水した水を工業用水にするための工程の一つである薬品注入設備(PAC)について紹介します。

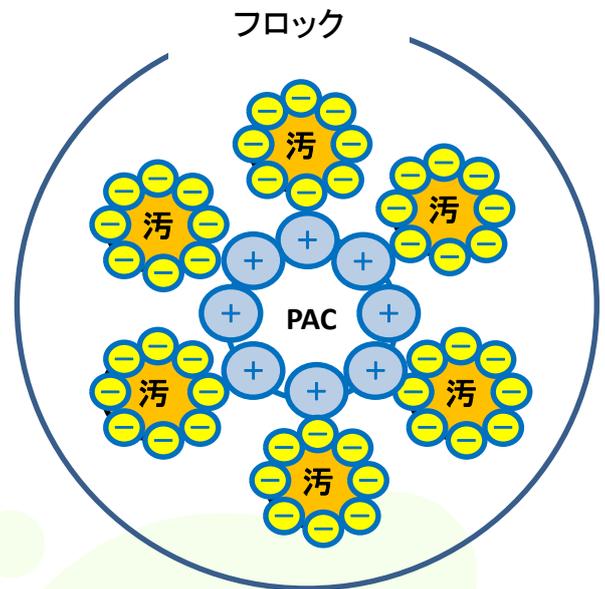
【薬品注入設備(PAC)】

薬品注入設備とは、決められた水質にするための薬品を注入する設備のことです。

今回紹介するPAC(ポリ塩化アルミニウム)は凝集材のひとつで河川から取水した水にPACを注入することで水中に含まれる汚れの原因物質をフロックという球体の塊に凝集し沈降させて綺麗な水にするための薬品です。

他の凝集材として、塩鉄(塩化第二鉄)等がありますが、鬼怒水道事務所ではPACを使用しております。

PACを使用する理由は、価格が安く、PACの最適PH値も6.0~8.0と中性付近であり、塩鉄のように処理した水が着色しないためです。



★工業用水についてのお問い合わせ★

栃木県企業局水道課	〒320-0031 宇都宮市戸祭元町1-25	TEL 028-623-3820	FAX 028-623-3826
栃木県鬼怒水道事務所	〒329-1233 高根沢町宝積寺1900	TEL 028-675-1331	FAX 028-675-4818

鬼怒工業用水ホームページ：https://www.pref.tochigi.lg.jp/j54/index_k.html

「鬼怒工水だより」は、鬼怒工業用水道事業を広く皆様に知っていただくための広報紙です。鬼怒工業用水道をご利用いただいております皆様並びに関係者の皆様には、日頃から工業用水道事業の推進にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。



検針日のお知らせ	1 / (金) 20	2 / (月) 20	3 / (金) 31	年度末のため末日の検針です
----------	---------------	---------------	---------------	---------------

老朽化した設備の更新を実施しております

一排水処理池汚泥掻寄機更新工事一

【工事の経緯】

排水処理池汚泥掻寄機は薬品沈澱池やろ過池に溜まった汚泥を貯留・濃縮するために必要な設備です。排水処理池汚泥掻寄機が故障した場合、工業用水の安定供給に支障が出るのが予想されます。

現在の設備は昭和57(1982)年度に設置してからこれまで定期的な分解調整を行って運用しており、平成14(2002)年度には減速機等一部設備の更新をしていますが、耐用年数を超えていることから設備の健全な機能維持を図るため、設備更新計画に基づき昨年度(令和3(2021)年度)から1系排水処置池汚泥掻寄機の更新工事を行っています。

【工事の概要】

No. 1 排泥池及びNo. 1 濃縮槽汚泥掻寄機における駆動装置・架台、センターウェル、レーキ・水中機械などの設備を更新します。

工業用水の供給に支障が生じないよう万全の体制で工事を進め、完成は令和5(2023)年3月頃となる見込みです。

※1 排泥池汚泥掻寄機の役割

沈澱池等から排出された汚泥を一時的に排泥池に溜めおき、集められた汚泥を掻き寄せ、濃度を高くする設備です。掻き寄せられた汚泥は濃縮槽に送り、汚泥を更に濃縮させます。

※2 濃縮槽汚泥掻寄機の役割

汚泥を掻き寄せて濃縮するための設備です。汚泥は最終的に固形化し場外へ排出するため、泥と水分をできるだけ分離する必要があります。そのため、この濃縮槽で汚泥水を滞留させ重力により汚泥分を沈澱させ濃縮させています。



写真は更新中の濃縮槽の掻寄機です。中心から円周上に伸びるアームを回転させることで底に沈澱した汚泥を中心に収集します。通常は汚泥を貯留しています。